

科目名	ビジネスコンピューティング			ナンバリング	ICT241	授業形態	演習
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	裴鍾民	担当教員	○裴鍾民				

授業の概要	第3次産業革命以来、ICT(Information & Communication Technology)の継続的な発展によって、現代社会とビジネス環境は急激に変化している。現代社会を生きていく存在とした我々にとって、ICTを理解し活用することは重要な課題である。本科目では、就職活動及び社会人として活躍する際に必要なICTの活用方法を学ぶことを目的とする。具体的に、①ICTの基礎を理解すること、②現代社会と生活を支えているICTサービスを理解すること、③自分なりのICTの活用方法を見つけることを目標とする。特に、社会人として現場で利用できるウェブサイトを理解し、ビジネスに役に立つウェブサイトの制作を実践的に行う。						
到達目標	1) 情報を扱うコンピューター技術とネットワーク技術の基礎知識を理解する。(ICTの理解) 2) 日常的に使用しているICTサービスの事例と、将来広く使われると予測されるICT分野の事例を分析する。(ICTサービスの理解) 3) ウェブサイトの企画・提案・制作を経験する。(現場で利用できるICTサービスに関する考察)						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	現在、話題となっているICT関連 이슈を熟知しておくこと。 コンピューターの基本的な使い方に慣れておくこと。 経済・ビジネスのニュースへの関心及び疑問を持つようにすること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身に付け、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身に付け、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
① 当該分野に関する基本用語を理解し、基本概念を説明することができる。 ② 当該分野の近年の動向や特徴的な事例について探し、説明することができる。 ③ ウェブサイトの企画・提案・制作の内容をレポートにまとめることができる。	左記の項目について、 ① 専門用語を正しく使うことができる。 ② ICTの変化とそれに伴う社会現象を説明することができる。 ③ ICTサービスのテーマ設定及び企画することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		60%
宿題・授業外レポート		○	○		○		20%
授業態度・授業への参加			○	○	○		20%

課題、評価のフィードバック	講義の最後に、講義内容に関する振り返り小テストを実施し(manab@を使用)、次授業の冒頭で解説する。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	イントロダクション	授業の目的と問題意識、学修動機の共有を行う	
	第2回	ICT基礎(1)	ハードウェア・ソフトウェアに関する基礎知識を説明する。 関連事例を分析し解説する。	
	第3回	ICT基礎(2)	ネットワークに関する基礎知識を説明する。 関連事例を分析し解説する。	
	第4回	ICT基礎(3)	アルゴリズムとプログラミングに関する基礎知識を説明する。 関連事例を分析し解説する。	
	第5回	ICT基礎(4)	システム構成とセキュリティに関する基礎知識を説明する。 関連事例を分析し解説する。	
	第6回	ICTサービス(1)	ICTサービスの概要について解説する。 関連事例を分析し解説する。	
	第7回	ICTサービス(2)	インターネットの活用と新しい動きを分析し解説する。 関連事例を分析し解説する。	
	第8回	ICTサービス(3)	現場で使われているICTサービスの制作過程を解説する。 関連事例を分析し解説する。	
	第9回	ウェブサイト制作(1)	ウェブサイトのテーマ設定及び企画に関する基本的な考え方を説明する。	
	第10回	ウェブサイト制作(2)	ウェブサイトを制作するための基礎知識を学ぶ。	
	第11回	ウェブサイト制作(3)	簡易ウェブサイト制作ツールの使い方を学び、自分で実験的に制作する。	
	第12回	ウェブサイト制作(4)	簡易ウェブサイト制作ツールの使い方を学び、自分で実験的に制作する。	
	第13回	制作したウェブサイトの発表	自分で制作したウェブサイトをクラスで発表する。	
	第14回	ウェブサイトの活用	ウェブサイトとメディアとの連携方法を学ぶ。	
	第15回	情報化社会のルールとマナー	情報化社会のルールとマナーについて学ぶ。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		講義、事例把握のための映像視聴、質疑応答。		
授業外学習の指示		レポートのテーマに関して常に考えておき、授業時間外にレポートを作成しなければならない。 (授業外学習時間: 毎週 120 分)		

教科書	教科書は使用しない。随時、資料を配付する。
参考書	「日本経済新聞」、「日経MJ(流通新聞)」、「ITパスポート」など。
参考URLなど	特になし
その他	知識定着のため、他の経営学(経営の基礎など)関連科目もあわせて履修することが望ましい。 講義後半に実施する小テストはmanab@のレポート機能を使用する。